

川までありぬけるやうして参向をせしけり此位の宣  
旨をせんけりと書ふことなり

軍陣の白幡現る事其部員は合戦之事

昔年余月八日酒田陣ありて敵軍ありとする  
四五里あり今の八幡宮の社地余月八日前せしあり  
白旗立ちて遠方よりくる時敵軍遠く敵軍  
一とまはしし事得るなりとて其故あり  
よふとて例あり其所の國字は八幡宮の後より

放生池あり池のほとり八幡の白幡現る人群集す  
近時をくくばき居て将すなりとて其故あり  
八幡の幡下より称鐘といふ意なり十四年肥前國嶋原  
一揆の時い幡現す武士のさむづきはけし神なり故  
事因縁集ふことなり然る時余月八日於て領内の百姓  
シで城を折る事合戦の日書せしといふ余月  
北前今の八幡宮の社地は昔日源八幡を郎義家とい  
羽國仙之金澤清原の主人武則のよき武衛家衛  
三年に攻めし一掃陣の日余月今の八幡宮の地に